

オオタバコガ情報第2号

平成29年9月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

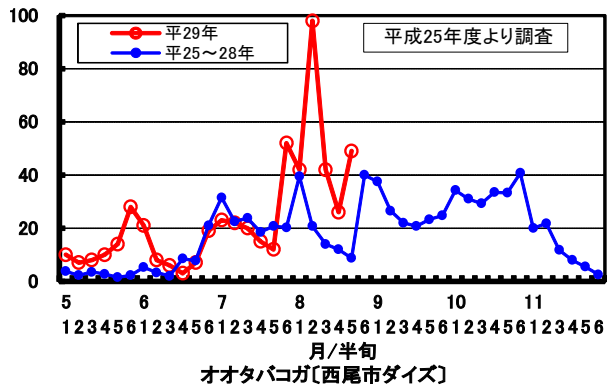
1 ほ場における発生状況

8月下旬の巡回調査におけるほ場での発生量は、**ダイズ**ではやや多い状況が続いており、多発しているほ場があります。キャベツ、キクではおおむね平年並の状況です。

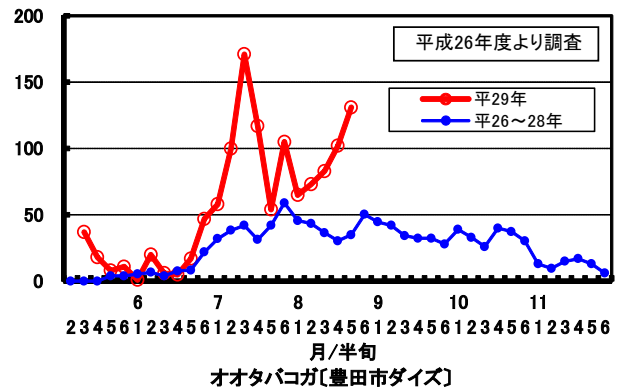
2 フェロモントラップにおける誘殺状況

フェロモントラップにおける誘殺数は、**西尾市や豊田市のダイズ**では、多い状況です。また、**豊橋市のキャベツ**では、やや多い状況ですが、**田原市のキャベツ、豊川市のキク**ではおおむね平年並、**安城市のダイズ、南知多町のキャベツ、稲沢市のキク**ではやや少ない状況です。

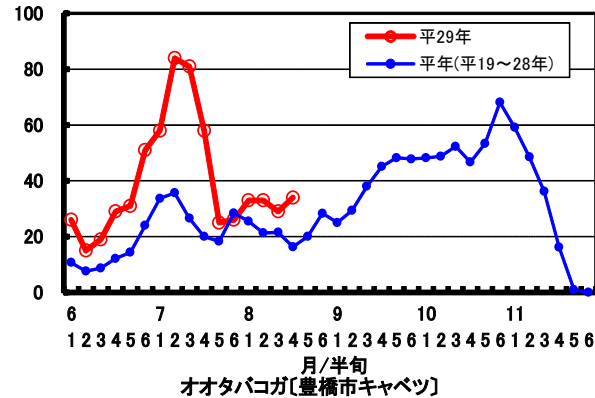
頭



頭



頭



頭

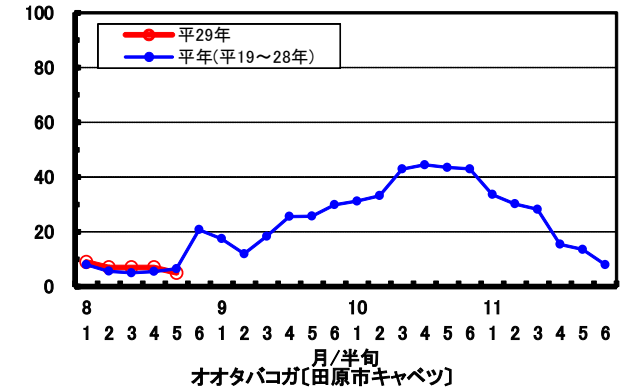


図 フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺状況

3 今後の発生予測

名古屋地方気象台8月31日発表の1か月予報によると、9月の気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並と予想されています。本種の発生を大きく助長する天候ではありませんが、発生が多かった地域では、引き続き発生が多い状況が続くと予測します。

4 防除対策

- (1) ダイズでは、発生に気づきにくく、莢も加害することから、被害が大きくなりやすい傾向があるので、早期発見に努め、だいずまたは豆類（種実）に登録のある農薬で防除しましょう（表）。
- (2) キャベツでは、発生初期の防除が重要であり、若齢幼虫のうちにキャベツまたは野菜類に適用のある農薬で防除しましょう（表）。
- (3) きくでは、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、きくまたは花き類・観葉植物に適用のある農薬で防除しましょう（表）。
- (4) 薬剤感受性が低下しないように、同一IRACコードの農薬を連用しないようにしましょう（表）。

表 オオタバコガに対する主な防除薬剤

作物名	農薬名	使用時期	使用回数	IRAC コード
だいず	アタブロン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	15
豆類 (種実)	チューンアップ顆粒水和剤	発生初期但し、 収穫前日まで	—	11(A)
	デルフィン顆粒水和剤	発生初期但し、 収穫前日まで	—	11(A)
キャベツ	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	6
	アクセルフフロアブル	収穫前日まで	3回以内	22B
	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	28
	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	5
野菜類	フローバックDF	発生初期但し、 収穫前日まで	—	11(A)
きく	アニキ乳剤	発生初期	6回以内	6
	ロムダンフロアブル	発生初期	5回以内	18
	フェニックス顆粒水和剤	発生初期	4回以内	28
	コテツフロアブル	発生初期	2回以内	13
	スピノエース顆粒水和剤	発生初期	2回以内	5
花き類・ 観葉植物	アフーム乳剤	発生初期	5回以内	6
	プレオフロアブル	発生初期	2回以内	UN

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/lab0/pdf/2017/mechanism_irac.pdfを参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。